



2024年5月・6月合併版

(第106号)

まちづくりNPO法人 ぐるっと緑道

<https://guruttoryokudo.jp>

発行責任者

塩入 廣中

(090-7275-1361)



2024年度「中川まちづくりプラン」開始

住み良い中川駅周辺のまちを目指す「2024年度中川駅周辺まちづくりプラン(略称中川まちづくりプラン)」が、地域の団体と都筑区役所が参加する「中川まちづくり連絡会」で決定されました。4月から参加団体の協力で実施していきます。詳しい内容はHPをご覧ください。なお、中川地域ケアプラザのロビー(書棚)にも置いてあります。



「中川まちづくりプラン」の詳しい内容はこちらをご覧ください▼



【まちづくりの目標】

- ・緑豊かで安全で楽しいまち！
- ・子どもや高齢者に優しいまち！
- ・地域の参加で共に作るまち！

【2024年度まちづくり活動項目】

1. 緑地・緑道の魅力アップ
2. 早渕川の魅力アップ
3. 駅前商業地区のバリアフリーの検討
4. 歩行者・自転車の安全
5. 都筑らしい文化の醸成
6. 地域活動の担い手を増やす
7. 中川駅前商業地区の活性化
8. 中川1丁目～4丁目の地域緑のまちづくり
9. ハウスクエア横浜の解散に伴う跡地問題
10. まちづくりプラン/まちづくり連絡会のレビュー

東急とハウスクエア横浜の跡地利用に関する意見交換会開催

ハウスクエア横浜((株)日本住情報交流センター)は、2025年3月31日に事業を終了することになっています。当該跡地の利用は、中川のまちづくりに大きな影響があるため、「中川まちづくり連絡会」は、特別委員会(中川西町内会会長、中川駅前商業地区振興会会長、NPO法人ぐるっと緑道で構成)を設置し、2月29日(木)、横浜市(建築局住宅政策課、都市整備局地域まちづくり課、都筑区政推進課)とともに、後継土地所有者となる東急株式会社、東急不動産と意見交換を行いました。

【意見交換 概要】

最初に、地域の意見・要望として、以下の項目を伝えました。

(基本的考え方)

①住民が交流する場所の確保、②外部の人にも開かれた構造であること、③「公開空地」の設置、④誰でも自由に入れる「オープンスペース」の確保、⑤地域と連携したコミュニティの形成、⑥地域の活性化につながる計画であること、⑦ハウスクエアの敷地が「公共用地」として拠出された土地であるとの性格を踏まえたものであること、⑧近隣に小学校・幼稚園・保育園があるため車の流入が現状より増大しない計画であること。

(その他の意見)

追加として、⑨商業エリアと一体となった取組(クリスマスイ

ルミネーション等)の実施、⑩可能であればスーパーの開設(中川での買物の完結)、⑪自由に使える倉庫の設置、⑫「あざみ野ガーデンズ」のような施設(BBQスペース、フットサルコート等)、⑬コミュニティカフェ再開となった場合の東急の強力なサポート(施設の整備、低廉な賃料)。

(東急の回答)

これに対し、東急からは、「主に住宅が中心の事業となると思うが、豊かな緑が保全されている場所であって、活発に地域活動が行われている土地柄、地域の意見を踏まえ、中川の価値が上がり、住みやすくなったと思える事業にしていきたい。この4月から1年間くらいで方向性を検討していくことになると思う。少し検討の時間を頂戴し、内容を示せる状況になったときに、また意見交換会を設定させていただく。」との説明がありました。

(まとめ)

最後に、特別委員会として、修正可能な段階での早期の協議を求めました。

今後の動きについてもこちらの広報にてお伝えしていきます。

